

# 磁性アタッチメント：ノンクラスプデンチャー を中心とした、審美義歯セミナー

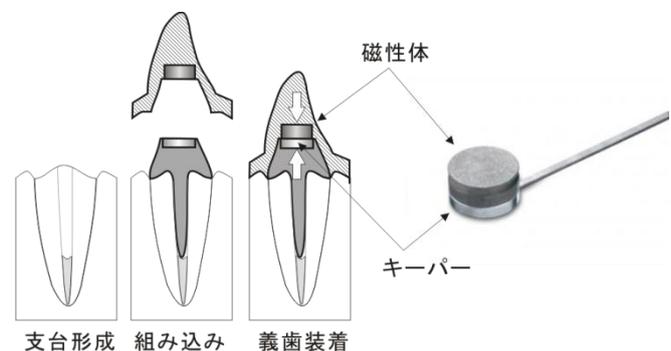
## なぜ、審美義歯？

部分的な欠損補綴としては、現在インプラント・Bridge・可撤性の義歯が存在しますが、それぞれ長所と短所が存在し、症例を選んで適用する必要があります。インプラントは、天然歯に近い機能を有し、非常にすぐれた修復法と言えますが、全身状態や、顎堤の状態からインプラントの適用が困難な患者さんも存在します。また、主として適用法に問題がある場合が多いのですが、予後が不良な症例も散見され、最近では「インプラントに関して良い評判を聞かない」など、最初から拒絶反応を示す患者さんも少なくありません。

一方、義歯は低コストで安全、また手技の容易なことから、広く普及している治療法ですが、患者さん側では審美性の低さが、また歯科医療側では採算性の低さが問題となります。適合性や使用感のため自費の金属床義歯を勧めても、クラスプが露出するため、とくに美容や若さに気を遣う女性には受け入れ難いのも事実でしょう。しかしながら、クラスプが露出せず、十分な咀嚼が可能であり、かつ長期的な管理が容易な方法であるなら、費用の安さや、外科処置が必要ないこと、また、将来的な追加費用が少ないことから、審美的な義歯を選択する患者さんは少なくありません。また、術者側の観点からも、残存歯の損失が生じた際に、大規模な修正を行わず、比較的簡単に対処できることも有利な点としてあげられます。

本セミナーでは、安全性が高く、患者さんにも、また術者にも負担の少ない、審美的な義歯製作法を習得して頂くためのセミナーです。

なお、クラスプを使用しない審美義歯には、コーヌスデンチャー、ミリングデンチャー、磁性アタッチメント、ノンクラスプデンチャーなどいくつかの方法があります。それぞれ設計方針や製作手順が完全に異なり、各義歯の特性を理解しておかないと、十分な機能が得られないだけでなく、鉤歯の喪失に繋がる可能性があります。本セミナーでは、審美義歯の中でも長期的な予後が期待できる磁性アタッチメントと、治療的介入が最も少ないノンクラスプデンチャーを中心に、



磁性アタッチメント義歯の構造

症例選択や設計、治療時の注意点を含めて、レクチャーを行います。これを機に、クラスプデンチャー、インプラントの間にある第三の選択肢として、審美義歯治療を習得して頂ければ幸いです。

# 審美義歯セミナーカリキュラム

## 部分欠損補綴の方法と、特徴

部分欠損の補綴方法とその特徴に関して解説を行います。また可撤性義歯の特徴に関しては実際の症例を示して解説します。

- インプラントと可撤性義歯の比較
- クラスプデンチャー, Rigid 義歯, 磁性アタッチメント義歯, ノンクラスプ デンチャーの特徴

## 義歯の選択と、設計方針

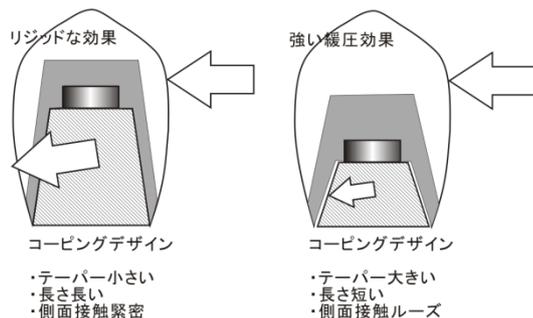
部分床義歯の、基本的な設計方針に関して、長期症例を提示し、支台歯や周囲組織の保全の観点から解説します。また欠損形態、残存歯の状態、習癖やブラキシズムなど、患者さんの状態に適した審美義歯の選択基準を提示します。

- Rigid か, Flexible か? 長期経過症例から見た、義歯の設計方針.
- 症例に応じた、審美義歯の選択基準

## 磁性アタッチメント義歯

通常 of 支台装置とは異なる、磁性アタッチメント義歯の設計製法について、そのポイント具体的な製法や、作業エラーの原因や回避方法に関して解説します。

- 磁性アタッチメントの特徴と適用法.
- テレスコープタイプと、オーバーデンチャーの選択.
- MRI アーティファクトの影響と、防止法.
- 支台歯のティッシュマネージメントと、形成・印象法【実習あるいはデモ】
- 症例に応じたキーパーデザインと設計.
- 義歯の印象法: 支台装置との粘膜面の適合のポイント.
- 作業模型の診断と、技工操作の実際【実習あるいはデモ】
- 磁性体の組み込みと義歯の調整.
- 予後管理, 二次カリエスの防止法.
- 義歯の調整方法, 支台歯喪失による部分的リライニング法.
- インプラントの支台装置として, 磁性アタッチメントは適しているか?
- Q&A: 義歯が外れる, 維持力が低くなる, 原因と解決法.



### 支台コーピングのデザイン

テーパー, 高さ, 適合度を変化させることで, 症例に応じて, 支台歯に加わる力や, 支台装置の把持効果を調整します.

## ノンクラスプデンチャー

術者の治療介入が少なく, とかく簡単と考えられるノンクラスプデンチャーに関して, 支台歯や義歯のトラブルを避ける, 症例選択, 義歯の製法について解説します.

- ノンクラスプデンチャーの種類と特徴.
- ノンクラスプデンチャーに適した症例, 適さない症例.
- 適切な支持の必要性と, その付与方法.
- サバーラインの計測と, 前準備.
- 調整管理方法, 管理時の注意点.

## オンライン症例相談

治療方針や治療上の問題点に関して, E-mail や Facebook 等を利用したオンラインでの症例相談を行い, 義歯製作をアドバイスをさせていただきます.

審美義歯セミナーは, トータルで1日, 実習を含めると一日半のコースになりますが, 時間に合わせて, ポイントを絞ったショートレッスンも可能です. セミナー費用は, 開催場所や参加人数によって異なるため, お手数ですが下記へお問い合わせ下さい.

Fax: 03-6368-6664

Email: [2010nagata@mbr.nifty.com](mailto:2010nagata@mbr.nifty.com)

Facebook: <http://www.facebook.com/nkazuhira>

2011年12月 あごの機能研究会 new